

科目名	建築一般構造	英語科目名	Introduction of Building Construction
開講年度・学期	平成 22 年度・前期	対象学科・専攻・学年	建築学科 2 年
授業形態	講義	必修 or 選択	必修
単位数	1	単位種類	履修単位 (30 時間単位)
担当教員	大島隆一	居室 (もしくは所属)	建築棟 2 階デザインスタジオ
電話	0285-20-2844	E-mail	o-shima@oyama-ct.ac.jp
授業の達成目標			
次年度以降に建築を学ぶための基礎固めとして建築用語を覚える。 1. 建物の仕組みおよび部材のおさまりを把握する。 2. 部材名称およびその定義を正確に覚える。 3. 各種構造形式の原理、特徴および構造等について説明できる。			
各達成目標に対する達成度の具体的な評価方法			
達成目標 1～3 について、定期試験により関連問題を 60%以上の成績で達成とする。			
評価方法			
中間試験および定期試験の結果、授業中の演習の結果を加重平均する			
授業内容			
01. (1週) ガイダンス(建築学体系、シラバス、試験、教科書)、建築物とは、建物構成、RC 造の出来るまでビデオ 02. (1週) 鉄筋コンクリート構造：RC 造の主材料、特徴、形式 03. (1週) 鉄筋コンクリート構造：RC 造のラーメン構造、壁式構造 04. (1週) 鉄筋コンクリート構造：RC 造の壁式、基礎/鉄骨構造：S 造の出来るまでビデオ 05. (1週) 鉄骨構造：S 造の特徴、形式、骨組 06. (1週) 鉄骨構造：S 造の鋼材、ボルト、溶接、柱脚、その他 07. (1週) <中間試験> 08. (1週) 試験回答説明、木質構造：W 造の出来るまでビデオ 09. (1週) 木質構造：W 造の特徴、形式 10. (1週) 木質構造：W 造の基礎、床組 11. (1週) 木質構造：W 造の軸組、壁・耐力壁、小屋組、屋根 12. (1週) 木質構造：W 造の接合・継手・仕口、接合金物 13. (1週) その他の構造：混構造、PCa 工法、平板構造、組積造・補強コンクリートブロック構造、SRC/CFT 造 14. (1週) その他の構造：PC 構造、チューブ構造、メガストラクチャ、トラス・スペースフレーム、吊り構造・張弦梁構造、アーチ・ヴォールト構造、シェル構造、折板構造、膜構造 <定期試験> 15. (1週) 試験解答説明			
キーワード	建築用語、各種構造		
教科書	「図解事典建築の仕組み」・彰国社、「建築構造用教材」・日本建築学会編		
参考書	----		
小山高専の教育方針①～⑥との対応	③		
技術者教育プログラムの学習・教育目標	----		
JABEE 基準 1 の (1) との関係	----		
カリキュラム中の位置づけ			
前年度までの関連科目	建築概論、建築製図 I		
現学年の関連科目	建築製図 II		
次年度以降の関連科目	建築材料		
連絡事項			
建築部材の名称や専門用語をそのしくみ・形状をイメージしながら学ぶ。 各部材の構成を立体的にイメージできるようにトレーニングする。 普段から建築を見て、そのしくみをイメージする、また把握する。			
シラバス作成年月日	平成 22 年 1 月 26 日		